



就業・施設体験の報告会が終わりました

年末が近づき、世の中は慌ただしくなってきました。本校では、就業・施設体験を終えた中学部、高等部のみなさんが元気に学校に戻ってきました。教室では、久しぶりの再会を喜び、友達と笑顔で話をする姿が見られました。

中学部 11月26日、高等部 12月9日に行われた報告会では、一人一人ががんばったことやこれからの成長のためにさらに高めていきたいことを発表しました。

今回は、就業・施設体験の特集です。



中学部では11月9日（月）～20日（金）の期間内に5日間の体験を行いました。一人一人が目標を設定し、学校とは違う体験先の雰囲気の中でしたが、落ち着いて作業に取り組むことができました。



フレンドハウス



吉田餅店でバックのシール貼りを丁寧に行いました。



高等部の就業・施設体験は、11月9日（月）～12月4日（金）の期間で行いました。

1年生は、前半の2週間、校内実習の『きらり』（清掃）、『とそや』（馬場薬局のとそ袋作り）の2班に分かれて、それぞれ作業に取り組みました。その後の2週間は初めての校外での体験になった生徒が多く、緊張したり困ったりしたこともたくさんあったと思いますが、報告会では、それぞれにがんばったこと、成長できた点を発表してくれました。また、新たな課題を見つけることができた生徒も多かったようです。初めてのことが多かった4週間の体験を通して、みんな自信をつけて帰ってきてくれました。



活動の様子

生徒のお礼状より



・今回の体験では、特にお風呂のお手伝いの時に患者さんの体をせっけんでていねいにゴシゴシ洗う仕事をがんばりました。最初は、分からないことがいっぱいあったけど、だんだん覚えてきたのでうれしかったです。（済生会病院）



・ラスクのバター塗りの作業では、バターを塗るのが楽しかったです。パンの納品や外販では、お客様が喜んでくれたので嬉しかったです。（ソラシド）



2年生は2度目の体験となり、レベルアップを目指したり、自分に合った職場であるかを見極めようとしたり、それぞれの目的、目標を持って臨みました。「今年は休まず元気に出勤できた。」などの成長したことや、「挨拶や返事が大きな声で言えないといけない。」などの課題点が分かりました。今回の体験を経て分かった課題点にはしっかり取り組んで、次回の体験で成長を見せてほしいと思います。



生徒のお礼状より



- 今回の体験を通して、自分の得意不得意が分かり、勉強になりました。同じことを何回もすることは得意で、流れ作業は不得意だと思いました。(佐川 急便)
- 体験で学んだことは・・・トマトの手入れをしたり、温度調節をしたりすることであまくておいしいトマトができることが分かりました。(TPP 農園)



活動の様子



3年生は来年度からの生活を意識して、今回の就業・施設体験に臨みました。前期の就業・施設体験等を通して、身につけた技術や体力を生かし、後期の体験もしっかり頑張ってくれたものと思います。反省会では、「今後身につけてほしい力」の話なども出ましたので、一人ひとりが意識してこれからの学校生活を送ってほしいと思います。

生徒のお礼状より



- 今後意識をすることは、返事を相手に聞こえるようにがんばります。・・・今回体験させていただいて、人とコミュニケーションをとることの大切さを学ぶことができました。(ラジカルラボ)
- 「あなたの仕事は、お客様の命と安全と健康に大きく貢献しています。」と言ってもらった、とてもうれしかったです。これからも皆さんのお役に立てるように仕事を頑張りたいと思います。(有料老人ホーム いからさん)
- 前回に比べ、うまくパンを丸められたので嬉しかったです。工房での立ち仕事は、少しきつかったけど最後まで頑張れたので良かったです。(ソラシド)



活動の様子



今回の就業・施設体験におきましては、コロナ禍にも関わらず、唐津市内25事業所、唐津市外8事業所、計33の事業所が中学部5名、高等部57名の生徒の体験を快く引き受けてくださいました。事業所からは「体験ノート」に毎日コメントを書いていただいたり、体験終了時には反省会を開いたりしてくださる等、お忙しい中多大なご協力とご支援をいただき、本当に感謝しています。この経験を子どもたちのこれからの学校生活や社会参加に向けて、しっかり役立てていきたいと思っています。保護者の皆様も送迎、毎日の弁当作り、反省会への出席など、ご協力ありがとうございました。